

謹んで初春のお慶びを申し上げます。

新しい年を迎え、会員事業場の益々のご繁栄と、
会員並びに組合員の皆様のご多幸を心からご祈念
申し上げますと共に、本年も変わらぬご指導とご
鞭撻をお願いします。

平成30年 元旦



(一社)愛媛県自動車整備振興会
愛媛県自動車整備商工組合
役職員一同



(一社)愛媛県自動車整備振興会会長
愛媛県自動車整備商工組合理事長

日 野 利 一

2018年

(一社)愛媛県自動車整備振興会会長 年頭所感

新年あけましておめでとうございます。

平成30年の新春を迎えるに当たり、所感の一端を述べ、新年のご挨拶とさせていただきます。

我が国の経済状況を見ますと、緩やかな回復基調が続き景気拡大期間は戦後2番目の長さになりました。平成29年の春闘は政府の経済界への働きかけもあり、4年連続のベースアップが実現して多くの産業では雇用環境の改善が進みましたが、一部の業種においては人手不足の深刻化による事業活動への影響が懸念されるようになりました。

世界経済を見ますと、EUのフランス大統領選挙が波乱無く終了したことや、イタリアの金融不安が後退したことで世界経済の不透明感がやや薄れましたが、依然として北朝鮮情勢の緊迫化などの地政学的リスクや、米国の政治動向などの不透明な要因があり、引き続き不確実な状態が続くのではないかと懸念されています。

平成30年度の経済は、政府はデフレからの脱却を確実なものにし、経済再生と財政健全化の実現に向けて、従来から進めている各種政策の推進や、2本柱である人づくり革命、生産性革命の一層の進展が見込まれ、個人消費と輸出を中心に緩やかな景気回復の動きが続く、設備投資の増加基調が維持され、引き続き景気の下支えとなることが期待されます。

自動車については、衝突被害軽減ブレーキなどの安全運転支援システムを装備した車両（ASV）が多く販売されるようになり、高齢運転者による交通事故増加対策の一環として、国は「サポカー、サポカーS」という愛称をつけた安全運転支援システムを装備した車両の普及を進めています。これから一層進む高齢化社会に際し、交通事故防止に繋がるこれらの車両増加が予想されるとともに、我が国の人口減少により保有台数の大きな増加が望めない中で、自動車の保有構造は経済性の良い軽自動車の割合が増加しています。

整備業界においては、急速に進む自動車の整備技術の高度化や、少子高齢化の進展による新卒者を含めた若年労働者の厳しい採用環境が課題となっており、変化する事業環境に対応できる業界となることが求められています。

このように、整備業界が抱える課題は山積してありますが、自動車ユーザーの皆様が安全で快適にクルマをお使いいただくためのお手伝いをするという整備事業としての社会的役割を十分に果たせるよう、業界全体の活性化と経営基盤の確立に取り組んで参る所存であります。



四国運輸局長
瀬部 充一

新春を迎えて

年頭にあたり新春のご挨拶を申し上げます。新年を迎え、四国の運輸行政に係る自らの使命に対し、思いを新たにして取り組んで参る所存でございます。

四国では、少子高齢化や人口減少の進展により、地域公共交通網の維持が困難になる状況が生じており、自動車への依存度が高くなっています。

四国管内の自動車保有台数は、この10年間ほぼ横ばい状態にある一方、新車販売に占めるハイブリッド車等の次世代自動車や、自動ブレーキ等の先進技術が搭載された自動車の割合は増加しております。

自動車整備業界は、これらの高度化、複雑化する自動車の整備を的確に行うための設備の導入や先進技術に対応できる人材の確保・育成が急務となっており、四国運輸局といたしましても、これらに係る諸施策を積極的に進めて参ります。

また、依然としてペーパー車検等不正事案が全国的に発生していることから、昨年末、四国運輸局においてもホームページ上に「不正車検通報受付窓口」を設置し情報収集を強化しました。悪質な違反行為に対しては、警察当局とも連携して厳正に対処し、再発防止に係る諸施策を推進するとともに、未認証事業者に対しても、適切に対処して参ります。

本年5月から、タカタ製エアバッグを搭載したリコール未改修車で異常破裂の可能性が高いものについて、車検の有効期間を更新しない措置を実施いたします。本措置の確実な推進には、リコール改修に責任を有する自動車メーカーは当然ですが、ディーラーや專業工場の皆様にも協力して取り組んでいただく必要がありますところ、本制度の趣旨をご理解いただき、ユーザーの皆様の安全確保のため一層のご協力を頂けますようお願い申し上げます。

昨年4月、全国で継続検査 OSS 申請が開始されました。関連手続きの電子化により自動車ユーザーのみならず、整備事業者の皆様にも事務負担等の軽減が図られるものと期待されますところ、引き続き関係の皆様とともにその普及拡大に取り組んで参ります。

また、例年実施しております「不正改造車を排除する運動」では、不正改造車や二次架装の排除を目指し、警告ハガキや街頭検査等の諸活動に取り組むとともに、「自動車点検整備推進運動」では、自動車の使用者に対する啓発等により点検整備の励行をより一層促して参ります。

以上、年頭に際し、私の所感を申し述べましたが、安全で快適な「くるま社会」の構築を目指し、また、若者が集まる業界となるよう頑張る所存であり、引き続き自動車整備業界の皆様と一体となって取り組みを進めて参りたいと考えております。

今後とも、四国運輸局の自動車整備行政への一層のご理解とご協力をお願いいたします。